

# 令和5年度 SSTA福島支部 夏季研修会 実施報告

【実施日時・場所】 令和5年8月10日（木）13：00～18：00

8月11日（金） 8：30～12：30（両日オンラインとのハイブリッド開催）

【参加人数】 25名（小学校：19名（横浜支部より1名）指導主事：2名 大学：1名 長期研究員等：2名 顧問：1名）

※ 1日目夜から、滋賀支部より12名が参加

## 【研修のねらい】

- 「科学が好きな子ども」を育む理想の学校について話し合うことを通して、「科学が好きな子ども」を育むための具体的な手立てや取り組みについて考えることができる。
- 多様な参加者とともに協議を深めることを通して、様々な教育観や科学観、子ども観に触れることで、自らの『観』を広げ深めることができる。

## 【研修の様子】

### 1日目

- 趣旨説明と研究校での取り組み（研修リーダー 郡山市立明健小学校教諭 鳴原卓 先生）

（講師 福島大学附属小学校 教諭 大杉悠斗 先生

前いわき市立好間第一小学校 研修主任）

本支部研修リーダーから、本研修会の趣旨や方向性についての説明がありました。本研修会を通して「科学が好きな子どもを育む夢へ、挑戦する学校」について考えていくということを参加者で共有し、研修の方向性を確認することができました。

次に、福島大学附属小学校の大杉悠人先生（前いわき市立好間第一小学校研修主任）より、研究校での取り組みを発表していただきました。昨年度、小教研県大会発表校であった好間第一小学校の取り組みから、学校全体で理科を研究するために大切なことについてのヒントをたくさんいただきました。



- グループ協議Ⅰ・Ⅱ

参加者を4つのグループに分け、まず始めに、科学が好きな子どもの姿について話し合いました。参加者一人ひとりが持っている「科学が好きな子ども像」を共有し合うことで、そのような子どもを育むための理想の学校像の方向性が少しずつ明確化されていきました。

次に、より具体的な学校像について話し合っていました。『どんなカリキュラムがよいか？』

『どんな授業をしようか？』『どんな環境づくりがしたいか？』といった視点で、活発な話し合いが行われていました。地域の素材を生かした単元を計画したり、総合的な学習の時間を絡めたカリキュラムを構想したりするなど、グループ毎に個性が溢れていました。



## ○ 中間発表会

協議Ⅰ・Ⅱの後、各グループで話し合った「科学が好きな子ども像」や目指す学校像のイメージを共有しました。「科学が好きな子ども」を育てるためにどのような取り組みをしていくのか…、各班のアイデアがさらに深まり練り上がっていくのか楽しみです！



## ○ 懇親会

1日目の研修終了後から、福島第一原子力発電所施設を視察に訪れていた滋賀支部の先生方が合流しました。福島県の美味しい食べ物やお酒をいただきながら、各県の教育や理科について楽しく情報交換しました。夕食終了後も、これからの理科教育について熱く語り合う姿がたくさん見られました。

## 2日目

### ○ グループ協議Ⅲ

横浜支部の先生や滋賀支部の先生方も各グループに入り、「科学が好きな子どもを育てる夢へ、挑戦する学校」についての協議をさらに深めていきました。他県の先生方が加わったことにより、新たな視点や斬新なアイデア等も生まれていました。目指す学校像も具体的になり、科学が好きな子どもを育てるための取り組み（単元・授業・環境づくり）もより明確になっていました。最終成果発表会に向けて、グループの思いや考えがより伝わりやすくなるための工夫についても相談していました。どんな理想の学校が発表されるのでしょうか…。



## ○ 成果発表会

最後に、2日間の協議の成果を発表しました。「理科・生活科・総合を絡めながら、あそびや体験活動からはじまる探究的な学びを大切にした学校」「屋上ビオトープを整備することで、都市部にありながらも子どもの自然体験を重視した学校」「『海』という地域素材を活かしながら、各学年同士の学びのつながりを大事にした学校」「『豊か学』という独自のカリキュラムを中心に据え、教科横断的に科学について考えていく学校」が各グループから発表されました。地域の水族館と連携したカリキュラムを構想したり、BBQから『科学』について追究したりするなどの斬新なアイデアもありました。





全グループの発表の後に、「どの学校で働きたいか？」という観点で、各グループへの投票を行いました。どのグループも甲乙つけがたい素敵な学校を発表しましたが、『海』という地域素材を活かしながら、各学年同士の学びのつながりを大事にした学校」を発表したグループが見事優勝しました。



### ○ 講評（福島大学 准教授 鳴川 哲也 先生）

研修の最後に、福島大学の鳴川哲也先生より講評をいただきました。講評では、「科学が好きな子ども」を育む理想の学校について話し合う参加者の「生き生きと」した表情についてのお話がありました。今回の研修で話し合われた理想の学校を実現していくために、参加者それぞれの環境や立場から、日本の科学教育をともに盛り上げていきましょう!!



充実した2日間でした！新たな絆もできました！